



カンボジア健康科学大学

University of Health Science (Cambodia)

●学生 約6,000人 ●教職員 約1,700人

ホームページ <https://uhs.edu.kh/>

交流協定締結年月日：2019年10月14日 主管学部：医学部



国際交流の特色

健康科学大学は、1946年6月に医学士官学校として設立され、1953年にカンボジア王立医学学校となり、1962年に医学部に加えて薬学部が設けられたが、1967年にはプノンペン大学に薬学部が移転した。1971年に歯科部を含む医学救急学部に変遷したが、ポルポト政権下で大学は放棄され、大きなダメージを受けた。1980年1月に医学、薬学および歯学の総合学部として活動を再開し、1997年に健康科学大学となった。2001年の終わりからは医学部、薬学部、歯学部、および医療専門学校から構成され、健康・保健分野全般をカバーする公的教育機関として運営されている。特に薬学部においては多数の薬用植物のコレクションを有しており、熱帯特有の植物からの生理活性物質の抽出等に注力している。UHSは以下に示す提携大学病院とセンターと連携して教育を実施している：カルメット病院、クメールソビエト友好病院（KSFH）、国立小児病院、Kuntha Bopha病院、プレアコサマック病院、Ang Doung病院（眼、耳鼻咽喉科）、Kean Khleangクリニック、国立母子保護センター（NCMCP）、国立結核・ハンセン病管理センター、HIV / エイズ・皮膚科およびSTD国立センター、国立寄生虫昆虫学マラリア対策センター

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	2	0	0
オンライン交流参加者（本学）	4	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	3	0	0



2018年6月5日に、徳田前副学長(当時)、清水教授(慢性期成人看護学、当時)をはじめとする本学代表団がUHS Saphonn Vonthanak学長を表敬訪問し、国際交流の可能性を論議しました。その後1年を経て、2019年10月に大学間交流協定が締結されました。

教員からの声

UHSは唯一の国立医科大学として最も高い評価があり、香川大学の重要なパートナーです。2017-19年度JICA草の根技術協力事業「衛生教育改善のための学校保健室体制の構築プロジェクト」、JSPS研究拠点形成事業、JSTさくらサイエンスプラン、2019-20年度医療技術等国際展開推進事業、2021-22年度文部科学省「日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Portニッポン）調査研究事業で協働し、2021年にはUHS看護教員5名が「学校保健データ管理オンライン研修」に参加し、教材190冊を香川大学から提供し活用された。2022年度には現地政府との「学校健診データマネジメント研修」に看護教員3名が参加しました。協定の下、研究者・学生交流が期待されます。

元医学部教授 清水裕子